

八十嶋洋子プレゼンツ 第3回

クララの室内楽



絵：三村晴子

女性作曲家にスポットを当てるシリーズ第3回

「ブラームス.....クララ・シューマンと歩んだ音楽の人生」



八十嶋洋子



西原 稔



漆原 啓子

ゲスト

西原 稔 (音楽学者)

漆原 啓子 (ヴァイオリン)

ピアノ助演：熊谷幸祐

演奏曲目

ロマンス ロ短調(ブラームスに捧ぐ)

主題と変奏ニ短調(クララに捧ぐ)

ロベルト・シューマンの主題「精霊の歌」による四手用変奏曲 Op.23

ヴァイオリンとピアノの為のソナタ 長調 Op.78 「雨の歌」

《クララ・シューマン》

《ブラームス》

《ブラームス》

《ブラームス》

2016年3月27日(日) 開場 / 14:30 開演 / 15:00

料金 / 一般 4,000円 学生 3,000円 1ドリンク付 会場 / 十字屋ホール (中央区銀座3-5-4 十字屋ビル9F)

共催 / 十字屋ホール、スタジオ・フリーデル 後援 / 日本ブラームス協会 協力 / (株) インターミュージック・トーキョウ
☎03-3561-5250 ☎03-5700-4055

ロマン派の大作曲家ロベルト・シューマンとピアノ奏者・作曲家でもあったクララは、夫唱婦隨の音楽家でした。子煩悩な夫と、愛すべき子供たち・音楽に囲まれてきた夫婦も、夫ロベルトの死によって別れが訪れます。ドイツ屈指のピアノ奏者、そして当時としては珍しい女性作曲家として、クララは悲しみのどん底から動き出します。クララを目指してきた八十嶋洋子はそのようなクララに倣い、チェリストだった夫の遺志の継承と新たに歩む音楽の道標として、室内楽の素晴らしさ、女性ならではの繊細な視点、至近演奏の臨場感など、室内楽の持つ醍醐味をシリーズ全8回で展開して参ります。好評を頂いた『シューマンとクララ、シューマン家の音楽会』、『クララとの結婚で湧き上がる愛の交歓〜シューマン珠玉の歌曲集』に続く待望の第3回目です。(十字屋ホール)



西原 稔 (音楽学者)

1853年9月30日、二十歳のブラームスはシューマン家の扉を叩きました。この時からブラームスはシューマン家と深く結びついた人生を送ることになります。ローベルトとクララの最後の子フェーリクスの名付け親はブラームスでした。彼の多くの作品にはシューマンとクララ、二人の子供たちへの思いが刻み込まれています。(西原稔)

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18.19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」(音楽の友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「楽聖ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「クラシック名曲を生んだ恋物語」(講談社)、「音楽史ほんとうの謎」、「ブラームス」(音楽の友社)、「クラシックでわかる世界史」(アルテスパブリッシング)、「ピアノ大陸ヨーロッパ」(アルテスパブリッシング)、「世界史でたどる名作オペラ」(東京堂)などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」(東京書籍)、翻訳で「魔笛とウィーン」(平凡社)、監訳・共訳で「ルル」、「金色のソナタ」(音楽の友社)「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」(以上、平凡社)などがある。『シューマン全ピアノ作品の研究』(音楽の友社)は、2014年第26回ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞する。



漆原 啓子 (ヴァイオリン)

1981年ヴァンヤフスキ国際コンクールで日本人初の優勝と6つの副賞を受賞。翌年、東京藝大入学と同時に本格的演奏活動を開始した。1986年ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。以後、ソリスト、室内楽奏者として第一線で活躍し続けている。これまで、国内外のオーケストラとの共演や演奏旅行、リサイタル、音楽祭に多数出演する。2011年デビュー30周年を記念し、バッハの無伴奏録音をCDリリース。レコード芸術特選盤に選ばれた。記念リサイタルでは、クラシック音楽ファン、評論家、マスコミなど、各方面より高い評価を得た。また、2012年3月にはベートーヴェンの全10曲のソナタを一日で演奏し、OTTAVAで中継されるなど、話題を呼んだ。CDも数多く発売されており、最新CDは、日本アコースティックレコーズより、妹の漆原朝子との「無伴奏ヴァイオリン・デュオ」を2014年3月21日にリリースした。漆原の常に安定した高水準の演奏は、音楽ファンのみならず、指揮者、共演者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。国立音楽大学客員教授。桐朋学園大学特任教授。



熊谷 幸祐 (ピアノ助演)

名古屋音楽大学ピアノ科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。第30回読売新人演奏会に出演。第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。室内楽において、東京サミット国際音楽コンクール奨励賞を受賞。ピアノを津島忠、北住淳、中岡秀彦、各氏に師事。音楽理論を大塚理恵氏に師事。これまで、ソロや伴奏、室内楽で多数のコンサートに出演。名古屋音楽大学附属音楽アカデミー講師、愛知学泉短期大学ピアノ非常勤講師。



八十嶋 洋子 (ピアノ)

東京藝術大学ピアノ科卒業。旧西ベルリンにてピアノをG・ブッフヘルト、D・ヘクスタ両氏に、室内楽をR・ワインスハイマー氏に師事。在独中ジュネーブ国際コンクール他、多くのコンクールで伴奏ピアニストを務める。ベルリンのロイヤルアカデミーオブダンシングの正式ピアニストとして数々の公演に出演。1982年ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて八十嶋龍三とのデュオでデビューの後、チェロとピアノの作品の研究を続け、ドイツ日本各地で演奏活動を続けた。大学在学中より永年にわたり、日本を代表する作曲家、平井康三郎氏に師事。多くの日本歌曲の初演、ピアノソロでNHK-FMに出演。現在ピアノソロをはじめ、(チェンバロを含む)室内楽奏者、伴奏者として活動の他、国立がん研究センター他での、病院、施設での音楽会企画にも積極的に取り組んでいる。これまでに、久保田裕子、林美奈子、松崎俊三、永井進、田村宏、の各氏に師事。吉祥女子中学高等学校非常勤講師。また、スタジオ・フリーデル、チェロアンサンブルの"ゴージュの会"を引き継ぎ、主宰している。

今後のお知らせ

- 第4回 10月2日(日) 『パリと晶子、そして音楽』
 ゲスト 萩原茂 (近代文学研究者、与謝野晶子サロン常任顧問)
 第5回 2017年4月16日(日) 『ベートーヴェン』
 ゲスト 西原稔

■チケットのお申込み

カンフェティ (セブンイレブンにてチケットのお受け取りができます)
0120-240-540 (携帯からご利用の場合 03-6228-1630)
 (電話受付 平日10:00~18:00)

●パソコン・スマホからなら24時間受付可能 →セブンイレブンでお受け取り!
<http://confetti-web.com/ginzajujiya>

■お問合せ **十字屋ホール** www.ginzajujiya.com
03-3561-5250 (電話受付 平日10:00~18:00)

十字屋ホール
 〒104-0061
 東京都中央区銀座3-5-4 十字屋ビル9階
 ■ 東京メトロ 銀座駅(A9出口) 徒歩2分
 ■ 東京メトロ 銀座一丁目駅(8出口) 徒歩2分
 ■ JR 有楽町線 徒歩5分

